

『キリストに倣う人生』

ピリピ2：4～8

1

はじめに

ヨブに見る苦難の中の生き方

「主は与え、主は取られる。主の御名はほむべきかな。」ヨブ 1:21

「私はいのちをいといいます。私はいつまでも生きてくありません。私にかまわないでください。私の日々はむなししいものです。人とは何者なのでしょう。あなたがこれを尊び、これに御心を留められるとは。」ヨブ 7:16-17

十字架の死にまでも 8節

「またイエスは道の途中で、生まれつきの盲人を見られた。弟子たちは彼についてイエスに質問して言った。『先生。彼が盲目に生まれついたのは、だれが罪を犯したからですか。この人ですか。その両親ですか。』イエスは答えられた。『この人が罪を犯したのでもなく、両親でもありません。神のわざがこの人に現れるためです。』」ヨハネ 9:1-3

人間と同じようになられた 7節

「父と母を敬え。あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。」マタイ 19:19

「すると、王は彼らに答えて言います。『まことに、あなたがたに告げます。あなたがたが、これらのわたしの兄弟たち、しかも最も小さい者たちのひとりにしたのは、わたしにしたのです。』」マタイ 25:40

5

そのような心構えでいなさい 4節

「私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が肉にあって生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によっているのです。」ガラテヤ 2:20

むすび

「ですから、私は、あなたがたのために受ける苦しみを喜びとしています。そして、キリストのからだのために、私の身をもって、キリストの苦しみの欠けたところを満たしているのです。キリストのからだとは、教会のことです。」コロサイ 1:24